

# 議会だより

2017年 5月 北海道中川郡豊頃町議会発行  
議会運営委員会編集



## 60億円の新年度予算を可決

第1回定例会は、3月3日から開催され、平成29年度当初予算をはじめ、条例の一部改正、平成28年度補正予算など、町長から提案された27議案のうち25議案をいずれも原案どおり可決、2議案を継続審査とし、9日に一般質問などを行って閉会しました。

平成29年度一般会計予算は42億1千172万円で、対前年度比12・5パーセントの減、特別会計を合わせた7会計総額では、60億1千104万円で、対前年度比9・3パーセントの減となっています。4月に町長改選期を迎えるため、継続事業中心の予算編成となり、前年度から大幅な減額となっています。

歳入では、普通交付税が前年対比約1億5千486万円減の19億6千116万円、臨時財政対策債は2千万円減の1億円を見込んでいます。また、財源不足に充てるため、財政調整基金から1億円を取り崩しています。

歳出の主な事業は次ページに掲載しています。

### 平成29年度各会計当初予算

(単位：万円)

会計名	29年度	28年度	比較	伸び率	
一般会計	42億1,172	48億1,313	▲6億0,141	▲12.5%	
特別会計	国民健康保険特別会計	6億5,276	6億7,891	▲2,615	▲3.9%
	介護保険特別会計	3億9,516	3億9,736	▲220	▲0.6%
	後期高齢者医療特別会計	5,810	5,618	192	3.4%
	医療施設特別会計	1億2,437	1億4,970	▲2,533	▲16.9%
	簡易水道特別会計	2億2,134	1億8,373	3,761	20.5%
	公共下水道特別会計	3億4,759	3億5,163	▲404	▲1.1%
	小計	17億9,932	18億1,751	▲1,819	▲1.0%
合計	60億1,104	66億3,064	▲6億1,960	▲9.3%	



# 当初予算の

# 主なもの

## 農林水産業の振興

緊急農地基盤整備事業補助  
1千488万円

## 道営農地整備事業

4千537万円  
農業基盤となる暗渠排水整備

## 町有林造林事業

2千973万円  
森林保全につながる新植、間伐など

漁業経営近代化促進事業補助  
480万円

漁労資機材の整備への補助

## 社会基盤の整備

町道の改良舗装・橋梁補修  
3億7千850万円  
幌岡第3幹線、統内16線の整備、3橋の補修

## 公営住宅の整備

1億1千360万円  
高齢者住宅1棟の新築と大津寿町営住宅1棟の建替えなど

## 水道施設更新事業

3千644万円  
配水管の布設替工事  
(簡易水道特別会計)

## 下水道施設更新事業

1億5千260万円  
下水処理施設の設備更新  
(公共下水道特別会計)

## 福祉の充実

次世代育成支援金支給事業  
1千630万円  
出産祝金や子どもを育てる保護者への支援金を支給

福祉タクシー乗車券交付事業  
416万円  
高齢者世帯にタクシー乗車券を交付

## 乳幼児等医療費助成事業

440万円  
本町独自で中学生までの医療費を無料化

## 商工業・観光の振興

プレミアム付特別商品券  
発行事業補助  
3千123万円

20%のプレミアム率を上乗せした商品券発行事業へ補助

とよこる物産直売会事業補助  
236万円  
システムレジ、冷蔵ケース購入への補助

## 教育の振興

高等学校等就学助成  
680万円  
高校生等の保護者に就学助成金を交付

## 移住定住の促進

豊頃町互産互生推進協議会補助  
1千230万円  
地域商社設立、互産互生ネットワーク拡大事業への補助

豊頃町総合プロモーション推進協議会補助  
503万円

人材育成、地域産業活性化、移住定住促進事業への補助

※表示の金額は、1万円未満を四捨五入しています。

広報とよこる

議会だより

役場だより



**平成28年度  
補正  
予算**

会計名	補正額	総額
一般会計(第11号)	▲2億5千970万円	54億8千961万円
国民健康保険特別会計(第3号)	▲3千467万円	6億4千590万円
介護保険特別会計(第3号)	▲1千739万円	3億9千425万円
後期高齢者医療特別会計(第1号)	108万円	5千726万円
医療施設特別会計(第4号)	▲1千810万円	1億3千914万円
簡易水道特別会計(第6号)	▲510万円	1億8千277万円
公共下水道特別会計(第3号)	▲6千446万円	2億8千888万円

**補正予算の主なもの**

◆地方創生拠点整備交付金事業(繰越明許費)  
**7千145万円**

茂岩市街地にある旧スーパーマーケットを改築し、まちなか活性化拠点施設として整備

◆道営農地整備事業(繰越明許費)  
**5千558万円**

北海道が進める農地の区画整理・暗渠排水等の整備に対する負担金

減額 このほか、予算額の精査による

※繰越明許費とは、歳出予算の経費のうち、年度内にその支出が終わらない見込みのものについて、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使用できる経費をいう。  
※表示の金額は、1万円未満を四捨五入しています。

広報とよこる

▽平成28年度補正予算ほか  
議会だより

役場だより

**【 条例改正等 】**

▼豊頃町行政区設置条例の一部改正  
大津幸町を区域とする大津二区と大津元町を区域とする大津三区を、大津二区に合併する改正。

▼豊頃町職員の育児休業等に関する条例の一部改正  
育児休業法の改正に伴い、特別

養子縁組の監護期間中の子や養子縁組里親に委託されている子を育児休業の対象とし、育児時間と介護時間による休暇時間の合計を1日2時間までとする改正。

▼豊頃町職員の給与に関する条例の一部改正  
国の人事院勧告に基づき、扶養手当の支給額を改正。

▼豊頃町税条例等の一部改正  
地方税法施行令等の改正に伴い、個人住民税の住宅借入金等特別税額控除の適用期限を平成33年まで延長し、法人住民税の法人税割の税率引下げと、軽自動車税の環境性能割の導入を平成31年10月まで延期する改正。

▼豊頃町奨学金貸付条例の廃止  
平成12年度以降利用者がいないことなどから廃止。

▼豊頃町高等学校等就学助成金交付条例の一部改正  
助成金を月額「5千円」から「7千円」に改正。

▼豊頃町在宅福祉サービス事業条例の一部改正  
軽度生活援助サービス事業、生きがいデイサービス事業の規定を削除する改正。なお、削除されるサービスは別の規則に規定し、今後継続して実施する。

▼豊頃町介護保険条例の一部改正  
介護保険法に規定のある生活支援体制整備事業と認知症総合支援事業の事業開始を平成29年4月1日に1年前倒しする改正。

▼町道の認定  
2路線を町道として新規に認定しようとするもの。現地調査が必要なことから、産業厚生常任委員会に付託し、閉会中の継続審査とすることと決定。

▼町道の変更  
町道南中央2条通の延長を変更



しようとするもの。現地調査が必要なことから、産業厚生常任委員会に付託し、閉会中の継続審査とすることと決定。

### 【監査委員の選任】

3月14日に任期満了となる山口浩司氏（茂岩本町）を再任したいとの提案があり、これに同意しました。

なお、任期は平成33年3月14日までの4年間です。

### 【公平委員会委員の選任】

5月11日に任期満了となる高田芳行氏（茂岩末広町）を再任したいとの提案があり、これに同意しました。

なお、任期は平成33年5月11日までの4年間です。

### 【固定資産評価審査委員会委員の選任】

4月21日に任期満了となる中村哲蔵氏（大津寿町）を再任したいとの提案があり、これに同意しました。

なお、任期は平成32年4月21日までの3年間です。

## 主な審議内容

### 平成28年度補正予算

**Q** 土地と物品の売却収入の増額理由は。

**A** 土地は、道道改修用地と民間の方が宅地用地とするため売却したため。物品は、公用車と保育所にて未使用だったピアノを売却したため。

**Q** はるにれの木の今後の補修の考えは。

**A** 5年程度かけて木の保全、土壌改良を行う予定。

**Q** まちなか活性化拠点施設の概要と管理運営は。

**A** 施設では、サイクルツーリズム、移住定住促進、観光案内、宿泊機能、サテライトオフィスなどの業務を行う予定である。管理運営は、今後設立する地域商社が担う方針であるが、運営開始後でも臨機応変な対応ができるような運営方法としたい。

**Q** 地域商社の法人形態は。

**A** 地域商社の立ち上げに向けた準備会において検討中である。

**Q** まちなか活性化拠点施設の駐車場の確保は。

**A** 施設の隣接地を活用できるよう交渉している。

**Q** まちなか活性化拠点施設の宿泊機能の考え方は。

**A** 民泊のような簡易な宿泊施設として整備予定で、食事は市街地ですることを基本に、宿泊者自身が施設内の調理場で作ることも想定している。



まちなか活性化拠点施設として整備する建物

### 条例の改正及び廃止

**Q** 奨学金貸付条例の廃止にあたり、償還不要な就学助成制度等の考えは。

**A** 平成22年度から高等学校等就学助成制度による助成金

を、中学校卒業後3年間、高等学校等へ入学した全生徒に交付している。

**Q** 高等学校等就学助成金を2千円増額する理由は。

**A** 高校までの通学事情などを考慮し、保護者の経済的負担の軽減を図るため。

**Q** 介護保険条例の一部改正により、現在行っているサービースに変更はないのか。

**A** 現在のサービースに変更はなく、新たに生活支援体制整備事業と認知症総合支援事業を平成29年度から開始する。

### 平成29年度当初予算

**Q** 地方交付税や自主財源確保の考え方は。

**A** 地方交付税は、人口減少に伴い確保が難しくなる。また、自主財源は、その中心となる税金の確保策として企業誘致が最も有効と考えている。

**Q** 町の基金総額は。

**A** 約45億円である。

**Q** 十勝市町村税滞納整理機構派遣職員人件費負担金とある





が、新年度に本町職員を派遣する  
のか。

**A** 新年度から2年間職員を派遣し、滞納者に対する税の滞納処分業務を行う。

**Q** 十勝市町村税滞納整理機構に職員を派遣する理由は。

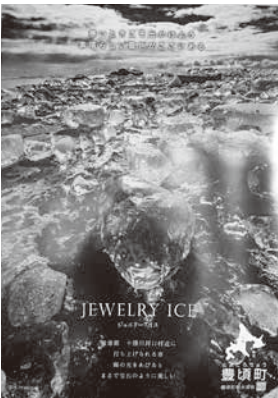
**A** 徴収業務の専門知識向上とともに、他市町村の職員と仕事をすることで職員研修になることを考える。

**Q** 税金の徴収業務は、各市町村が責任を持って行うべきでは。

**A** 一般的な徴収業務は各市町村で行っているが、そこでの徴収が困難な、専門知識を必要とする案件だけを滞納整理機構に依頼している。

**Q** 個人番号カードの発行状況は。

**A** 今年2月末時点で申請者数231人、申請率7.1%である。今のところ、個人番号は、税金の確定申告など限られた場面でしか使用しないが、利用機会が広がるにつれ普及すると考えている。



観光協会の広告用ポスター

**Q** 個人番号カードを持たなくても各種手続きはできるか。

**A** 処理に時間はかかるが、支障なく手続きはできる。

**Q** チャレンジショップ事業補助金の概要は。

**A** とよころ物産直売会が整備するソフトクリームサーバーの増設に対する補助。購入額216万8千円に対し補助し、4種類のソフトクリームを作れるようにする計画である。

**Q** 豊頃町観光協会補助金の増額理由は。

**A** 広告宣伝費の増加や観光パンフレットを増刷するため。ジュエリーアイスへの観光では、外国人旅行者の増加を想定し、英語、中国語、韓国語など外国語表記のパンフレットの作成を検討していく。



茂岩下水浄化センター

**Q** 要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費と特別支援教育就学奨励費の支給を就学前に前倒して支給できないか。

**A** 就学後、保護者から申請を受け付けたいうえで支給しているが、その費用のうち入学準備金について、他市町村の動向を踏まえながら適切な時期の交付に向け検討していく。

**Q** 下水道施設改築更新工事において、茂岩下水浄化センター管理棟建築工事の内容は。

**A** 主に建物の外壁と屋根の塗装工事を行う。

**Q** 施設ごとの工事予算額は。

**A** 茂岩下水浄化センターは5千940万円、大津下水浄化センターは6千160万円、中央汚水中継ポンプ場は3千160万円。

**Q** 下水道施設改築更新工事における、電気設備の更新状況は。また、この工事を地元業者が請け負うことは可能か。

**A** 使用開始後20年が経過しており設備を更新する。また機械設備、電気装置ともに特殊な設備のため、地元業者での対応はできないと考えている。

## 意見書

▷ 所得税法第56条及び関連条項の見直しを求める意見書

原案どおり可決され、関係省庁に提出されました。

# 一般質問



岩井 明 議員

## 子どもの医療費無料化の拡大は

Q 高校生の医療費無料化についての検討経過は。

A 宮口町長

十勝管内では、4町村が高校生まで無料化の対象としている。医療費無料化により、国から国民健康保険への負担金が減額されることの予測がある。また、国民健康保険が都道府県単位の広域化となる中で、影響は不透明である。町長改選期のため今後のことは言えないが、検討が必要と考える。

## 学校給食費の無償化は

Q 学校給食費を無償化にする考えは。

A 宮口町長

十勝管内では、3町村が無償化、4町村が一部補助を行っている。本町での取組については、町長改選期のため答弁を差し控える。



学校給食センター



小笠原茂人 議員

## 国民健康保険の広域化による影響は

Q 平成30年度からの国民健康保険広域化に伴い北海道が公表した保険料の仮算定では、本町は増額と公表されたが、負担軽減に向け

た要請の考えは。

A 宮口町長

十勝町村会において協議のうえオール十勝を基軸に要望したい。

Q 北海道が今年2月に公表した2回目の仮算定の結果は。

A 岩城福祉課長

平成28年度国民健康保険税（医療給付費分）収入額は約1億7千万円である。それに対して、昨年公表された1回目の仮算定では、広域化後北海道に納付する保険料は約1億円増だったが、2回目の仮算定では約6千万円となった。一人あたり保険料額になると13%増となるが、北海道では、広域化後6年間は保険料の上昇を5%に抑える激変緩和措置を検討中である。

Q 医療費削減に取り組み自治体として保険料軽減の要請はできないか。

A 宮口町長

国民健康保険は相互扶助の精神に基づく制度であり、保険料は加入者の所得水準などを基に算定されるため、道内市町村の中で所得水準の高い本町の税額は増加することとなるが、激変緩和措置の導入などを要請していきたい。

## 高校通学バスの検討結果と今後の計画は

Q 高校通学バスの検討結果と今後の計画は。

A 宮口町長

昨年、中・高校生を持つ保護者に対して、こともプラザから幕別駅と池田高校までの通学バスの運行についてアンケート調査を実施したところ、回答率約44%のうち、「バスを利用する」との回答は約45%だった。

この結果を受け、現在は運行していないJRの始発便と夜の便に接続するコミュニティバスを10月から2か月間試験運行したところ、1日平均乗車人数は、朝の便が1・9人、夜の便が2・1人であった。通学手段として必要な高校生がいると判断し、12月以降の試験運行の継続と新年度からの本格運行を考えている。

Q 利用者に配慮したコミュニティバス等の運行を！

A 宮口町長

乗車人数が2人程度という状況ではあるが、駅までの通学の不便さもあり、平等な予算の使い方も考慮して今後も検討していきたい。



コミュニティバス

**第1回臨時会（1月18日）**

▼平成28年度一般会計補正予算（第10号）

豊頃町農業協同組合が整備する種イモ貯蔵施設への補助、昨年の台風被害を受けた農家の借入金に対する利子補給、林道復旧工事費など、3億7千120万円を追加し、予算総額を57億4千931万円とする補正。原案のとおり可決。

**第2回臨時会（3月27日）**

▼損害賠償額の決定

昨年12月に発生したスクールバスの事故による損害賠償額を

165万円と決定。原案のとおり可決。

▼工事請負契約の変更

大津地域に光ケーブルによるブロードバンド環境を整備する大津地域情報通信基盤整備工事の契約額を5千11万円に変更。原案のとおり可決。

▼平成28年度一般会計補正予算（第12号）

損害賠償額の決定、工事請負額の変更など、251万円を追加し、予算総額を54億9千211万円とする補正。原案のとおり可決。

**会議の詳細は会議録で**

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録されています。

ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。

また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222

FAX 015-574-3955

（議会事務局直通）

広報とよこ

▼第1回臨時会・第2回臨時会 議会だより

役場だより

**議会日誌**

**〔2月〕**

20日 議員全員協議会

21日 元議会議員会研修会

24日 十勝町村議会議長会定例会  
↳ 帯広市

28日 議会運営委員会

十勝圏複合事務組合等議会  
定例会  
↳ 帯広市

**〔3月〕**

3日 第1回定例会（1日目）  
（条例改正、補正予算等）

7日 総務文教常任委員会  
産業厚生常任委員会

7日 第1回定例会（2日目）  
（平成29年度予算）

9日 第1回定例会（3日目）  
（一般質問、意見書、その他）

9日 議員全員協議会

27日 第2回臨時会

**〔4月〕**

17日～19日 十勝町村議会議長会

道外行政視察

茨城県常総市、つくば市、水戸市

21日 産業厚生常任委員会  
（付託議案審査）

**◎今後の予定**

**〔5月〕**

9日 第3回臨時会

9日 議員全員協議会

18日 十勝圏複合事務組合等議会  
臨時会  
↳ 帯広市

19日 元議会議員会総会

**〔6月〕**

7日 議会運営委員会

12日 第2回定例会（1日目）  
（補正予算、その他）

13日 北海道町村議会議長会定期  
総会  
↳ 札幌市

19日 第2回定例会（2日目）  
（一般質問ほか）

※日程は変更になる場合があります。